

④ **GPUKの学修成果のアセスメント**  
「英国GPプログラムにおける  
英語学習の認識の変化」

創価大学 経営学部

志村 裕久

# 経営学部 GPプログラムの概要

- グローバル・プログラム（GP）とは、国際感覚を身につけたプロフェッショナルな人材を養成することを目的とした、経営学部独自の英語で学ぶ専用科目群です。その中核科目は、GPミッションといって、国際機関や大学院などの一流の専門家による英語講義を海外に行って聞いてきます。ミッションとは使命を帯びた派遣という意味で、創大生の代表として世界の最前線の「地球市民としての企業」に関する活動と研究・教育を学んできます。ビジネス英語の基礎を徹底して学び、継続して「ビジネスと経営」を英語で学ぶ専門科目が4年間を通して設定されています。経営学部には、「学ぶ心に灯をともす」仕掛けがあるのであります。

# 経営学部 GPプログラムの概要

グローバル・プログラム (GP)

目的：国際感覚を身につけたプロフェッショナルな人材を養成する

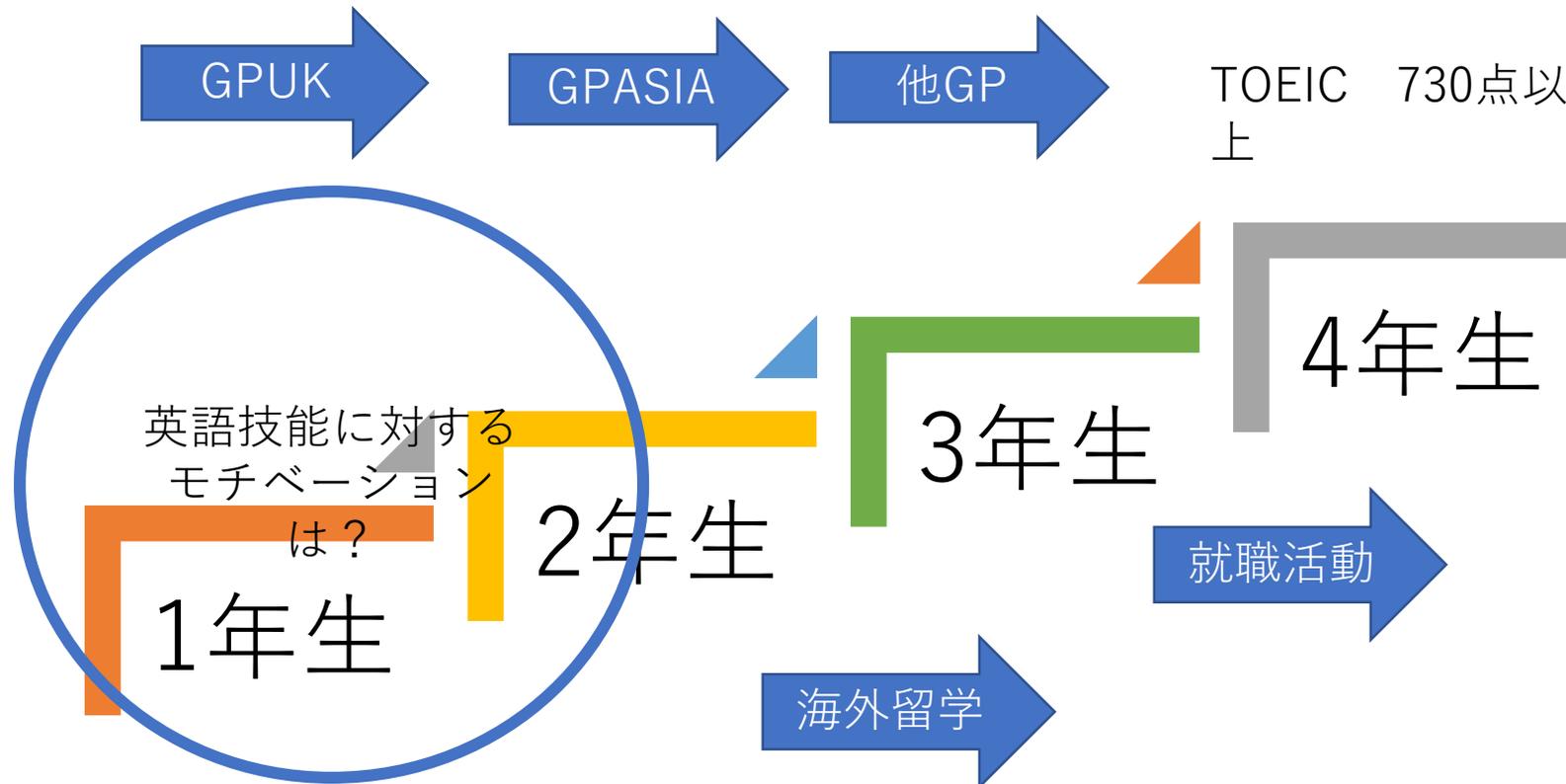
内容：経営学部独自の英語で学ぶ専用科目群

中核科目→「GPミッション」

## 「GPミッション」の特色

- ・国際機関や大学院などの一流の専門家による英語講義を海外で受講
- ・GPにおけるミッション→使命を帯びた海外派遣
- ・創大生の代表として世界の最前線の「地球市民としての企業」に関する活動と研究・教育を学ぶ
- ・ビジネス英語の基礎を現地で徹底して学ぶ
- ・研修前後も継続して、4年間「ビジネスと経営」を英語で学ぶ専門科目が設定
- ・経営学部における「学ぶ心に灯をともす」仕掛け！

# GPと経営学部のミッション



# スケジュール

- 2月日から3月日までの約3週間のプログラム
- 各自がホームステイ先での生活
- Reading大学での授業
  - 英語プログラム
  - ヘンリービジネススクールでの授業（1回）
  - ウェストロースへの訪問
- 同大学でのジャパンソサエティメンバーとの交流
  - 水曜日2回のミーティング
  - 週末の旅行（セブンシスターズとバース）、BBQ
- ロンドン観光
  - 市内観光
  - 大英博物館

# 出発前の学習

- ✓ 経営学部内での履修科目
  - GPファンデーション
    - 英語の基礎的な力を強化
  
- ✓ GPUK参加者に向けたプログラム
  - リーディング
  - ライティング
  - グループ・ディスカッション
  - プレゼンテーション
  - レクチャ
  - 先輩との質疑応答

# GPUK参加者に向けたプログラム

- ✓ 留学前に英国の文化に触れることを目的にLTDをベースに開発
- ✓ リーディング
  - マクベス（シェークスピア、BBCの子供向け）
  - 幸福の王子（オスカーワイルド）
  - クリスマスキャロル（チャールスディケンズ）
- ✓ ライティング
  - 幸福の王子を読んだ感想
- ✓ グループ・ディスカッション
  - 幸福の王子を読んだ感想を共有
- ✓ プレゼンテーション
  - 幸福の王子を読んだ感想
  - 簡単な創価大学の紹介

# GPUK参加者に向けたプログラム

## ✓ レクチャ

- 文学

- 幸福王子（原文）

- クリスマスキャロル（簡易版 意欲がある学生には原文）

- 英国の小売業

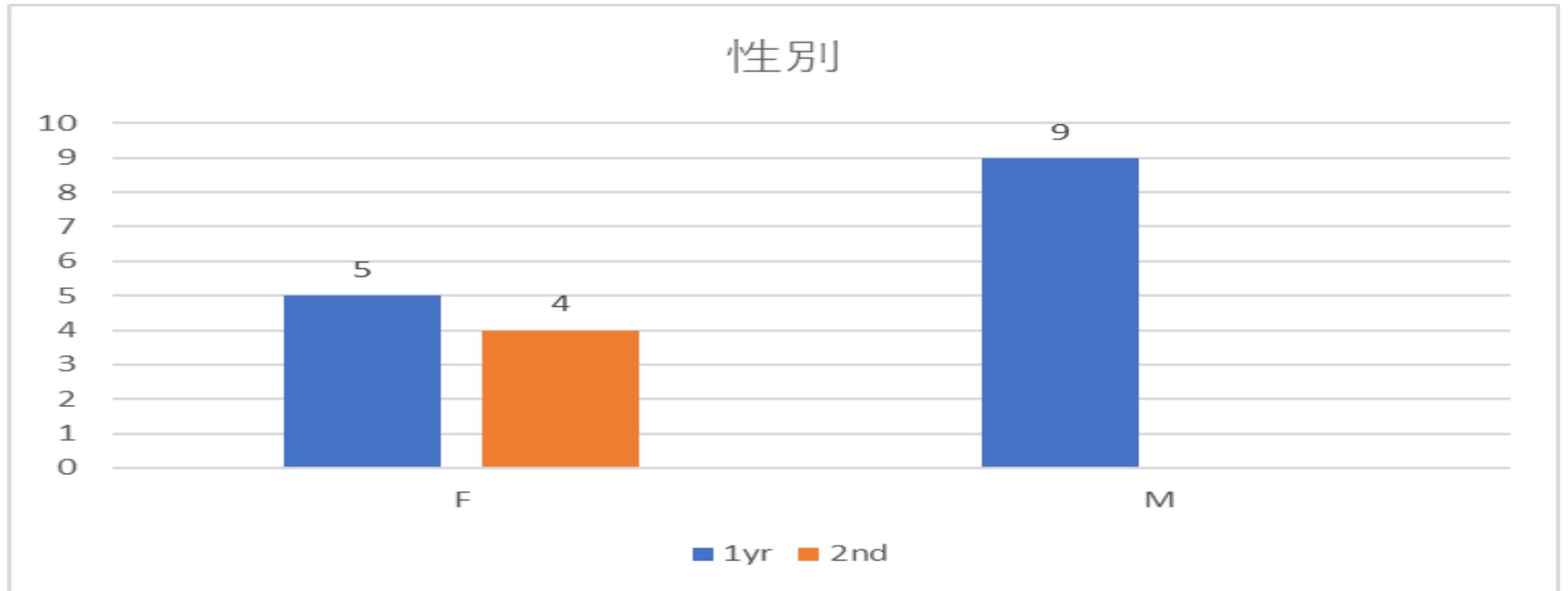
- 英国の小売業界

- ジョンルイス・ウェストロースの歴史（志村の研究テーマ）

# 帰国後の学習

- ✓ GPレビュー
  - 最終成果物として、冊子を製作
- ✓ 英語による専門科目の履修
  - Stakeholders' dialogue
  - Critical thinking in business strategy
  - Financial management
  - Etc.

# 参加者のプロフィール



# GPUKの参加による意識の変化

**留学前**に準備しておいた方が良かった内容（1はそうでもない、5はとってもそう思う）

- 1) スピーキング
- 2) ライティング
- 3) リーディング
- 4) プレゼンテーション
- 5) イギリスの文化について
- 6) 日本の文化について

英語スキル

教養

**留学後**に準備しておいた方が良かった内容（1はそうでもない、5はとってもそう思う）

- 1) スピーキング
- 2) ライティング
- 3) リーディング
- 4) プレゼンテーション
- 5) イギリスの文化について
- 6) 日本の文化について

# 今後の事前学習会のあり方

2日間の事前勉強会（1はそうでもない、5はとってもそう思う）

1) 有益だった

2) 回数

3) 教材

(ア) オスカーワイルド

(イ) ディキンズ

(ウ) シェークスピア

(エ) 英国の小売業

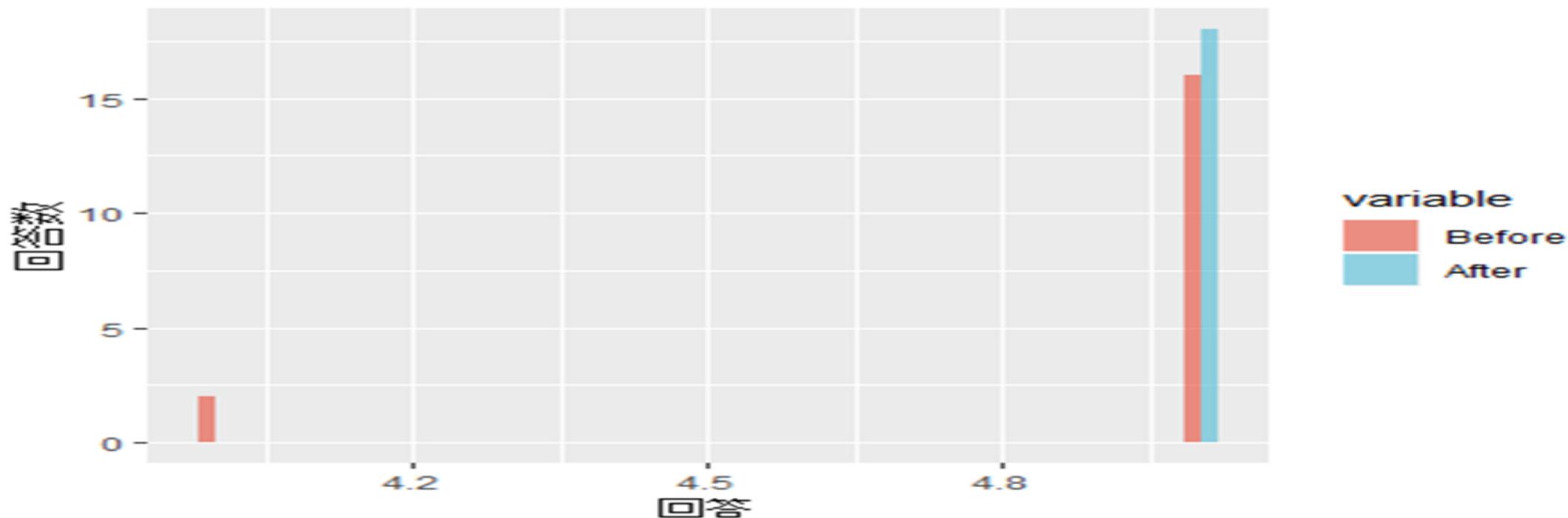
4) ディカッション

(ア) 日本語

(イ) 英語

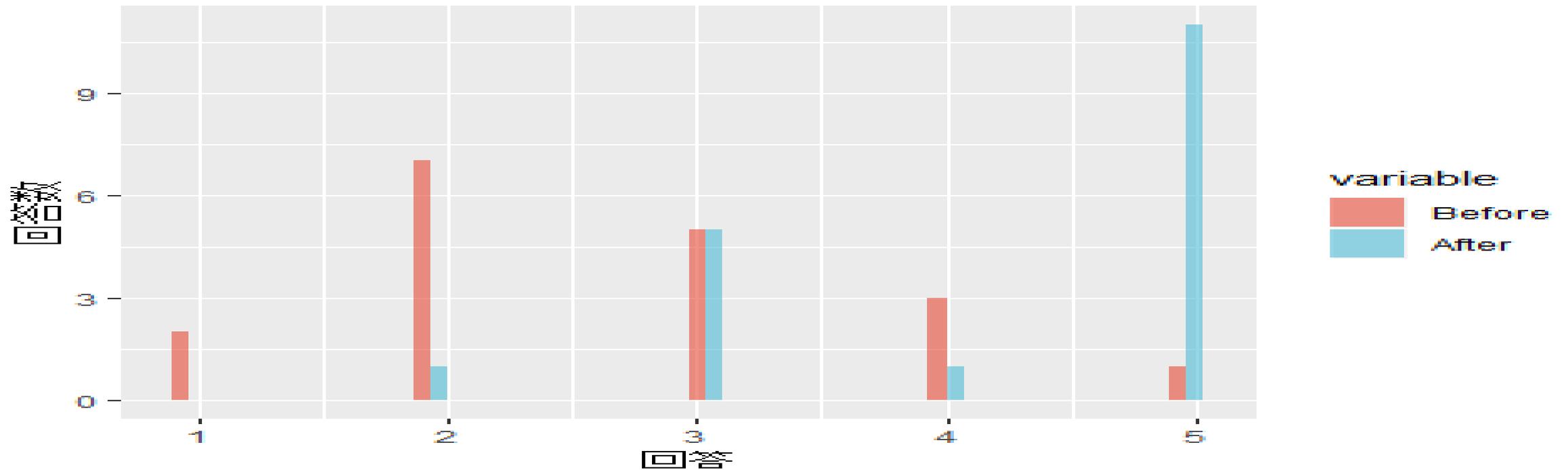
(ウ) どちらかでも良い

## GPUK参加による英語のスピーキングに対する意識の変化

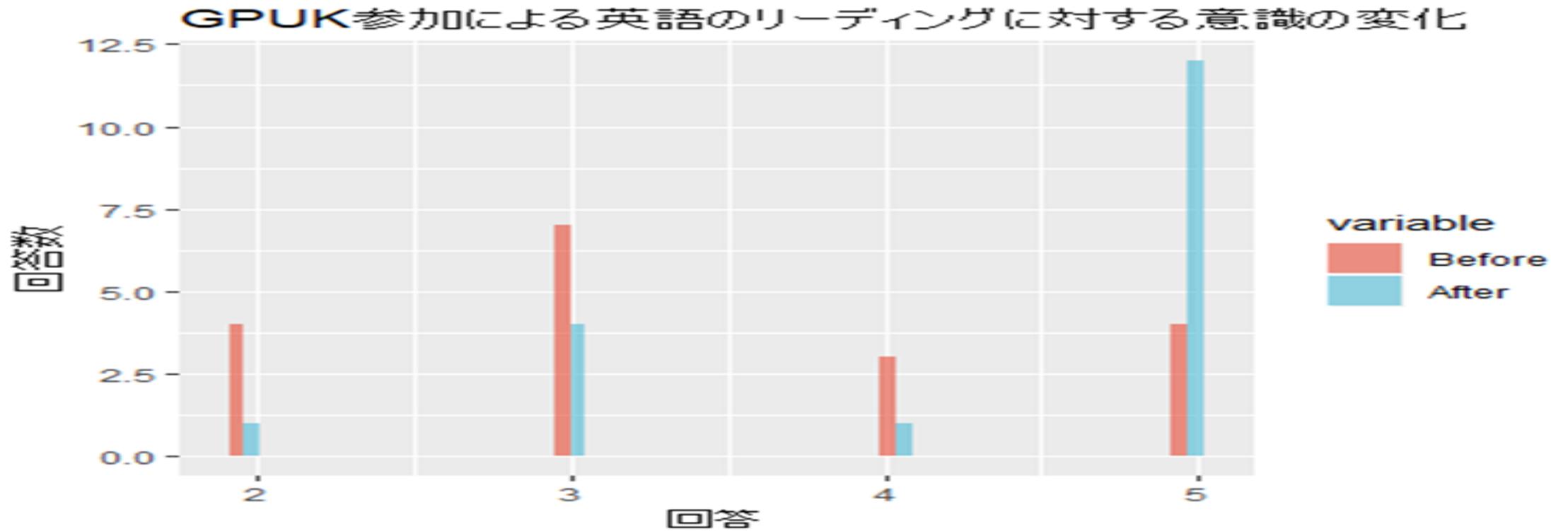


GPUK参加者の英語のスピーキングに対する意識の変化 GPUKに参加したことで、参加者のスピーキングに対する意識の変化が見られなかった (p値=0.16)。参加前の平均値は4.8、参加後の平均値は5なので、参加前からスピーキングに対する意識は高かったことと考えられる。

## GPUK参加による英語のライティングに対する意識の変化

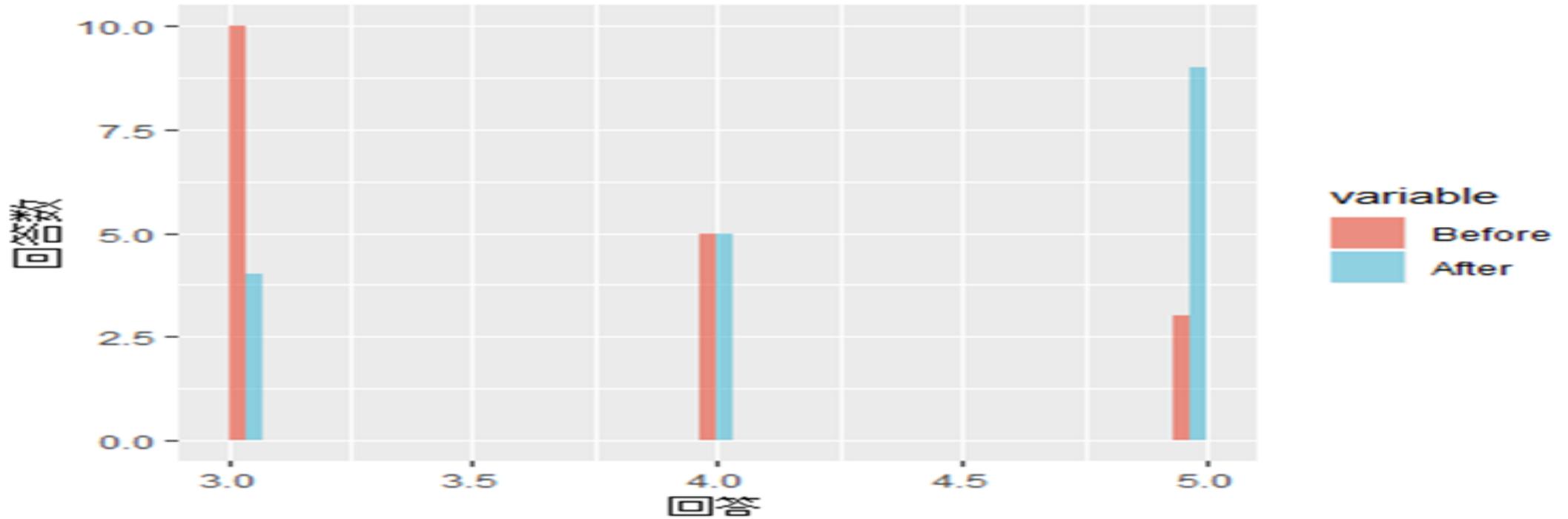


GPUK参加者の英語のライティングに対する意識の変化 GPUKに参加したことで、参加者のスピーキングに対する意識の変化が見られた (p 値<0.01)。参加前の平均値は2.6、参加後の平均値は4.2であった。



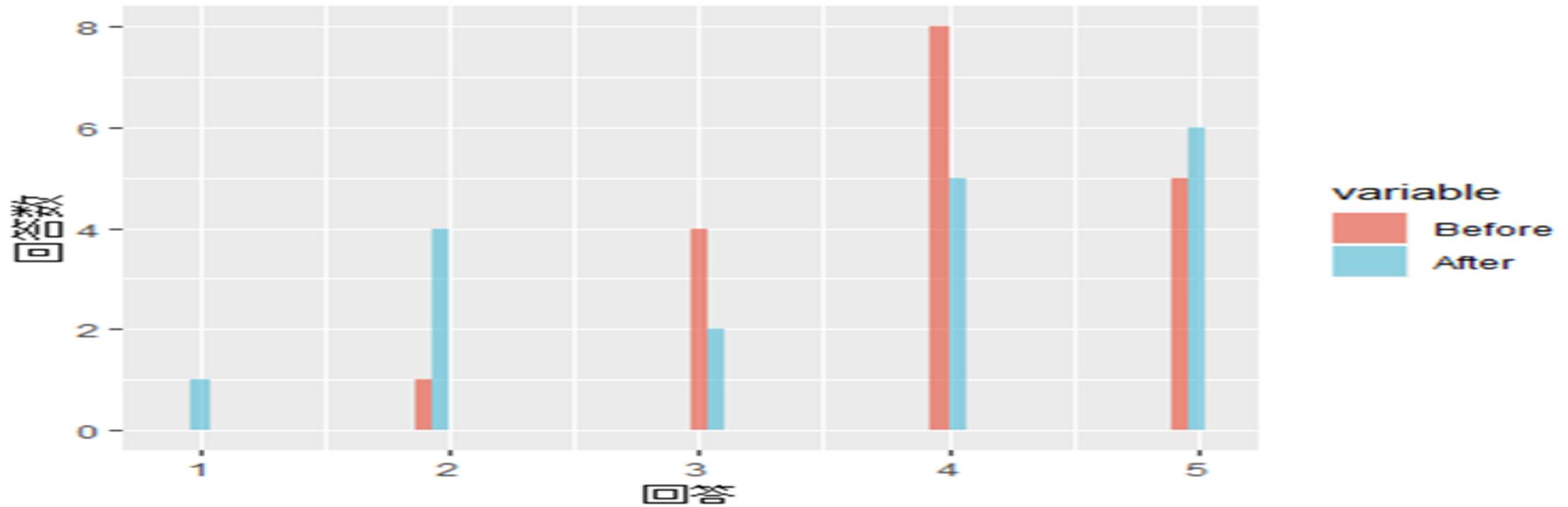
GPUK参加者の英語のリーディングに対する意識の変化 GPUKに参加したことで、参加者のリーディングに対する意識の変化が見られた (p 値<0.01)。参加前の平均値は3.4、参加後の平均値は4.3であった。

GPUK参加による英語のプレゼンテーションに対する意識の変化

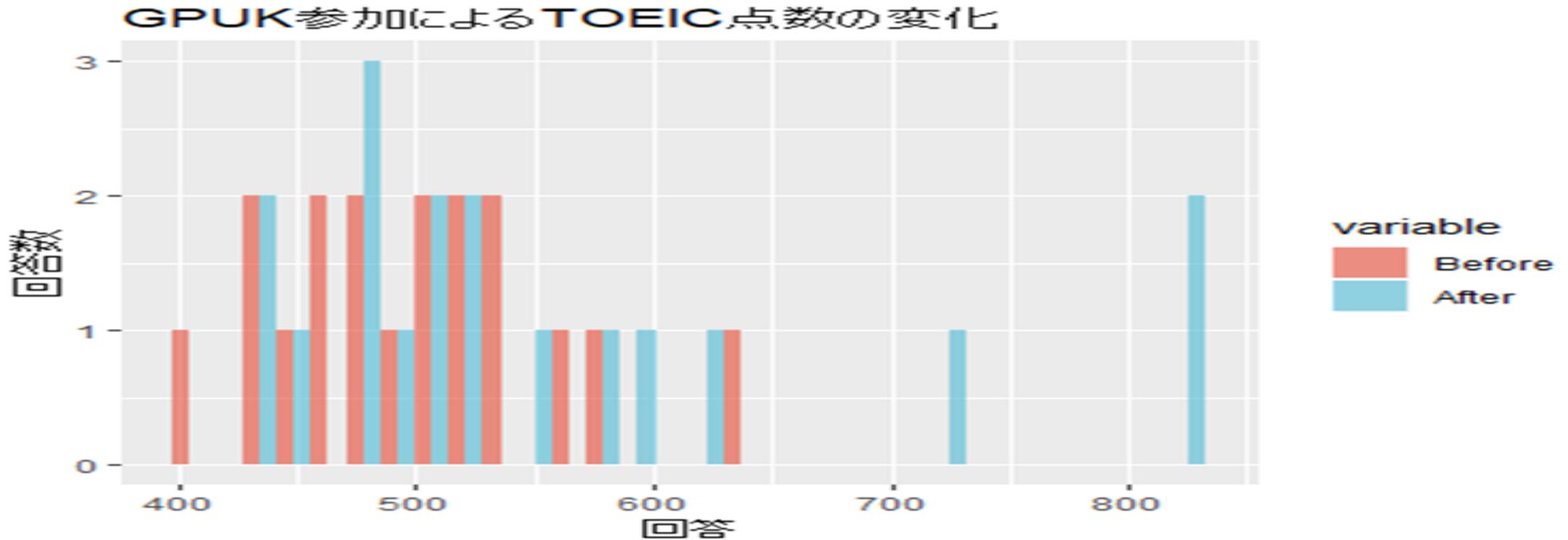


GPUK参加者の英語のプレゼンテーションに対する意識の変化 GPUKに参加したことで、参加者のプレゼンテーションに対する意識の変化が見られた (p 値=0.02)。参加前の平均値は3.6、参加後の平均値は4.2であった。

GPUK参加によるイギリスの文化に対する意識の変化



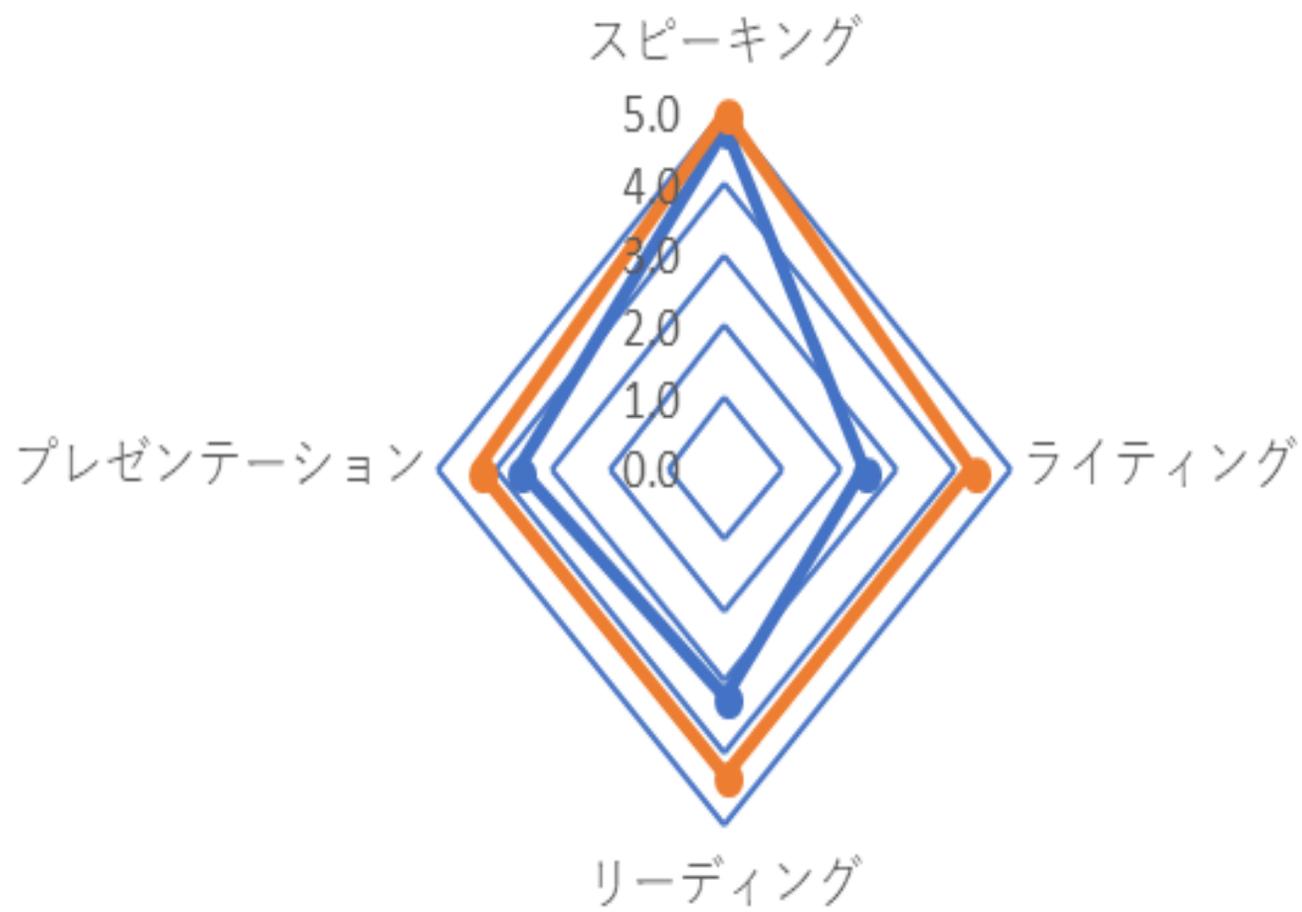
GPUK参加者のイギリスの文化に対する意識に関しては、GPUKに参加したことで、意識の変化が見られなかった。(p値=0.27)。参加前の平均値は3.9、参加後の平均値は3.6であった。



GPUK参加者のTOEICの点数は変化が見られた。(p値=0.017)。参加前の平均値は500、参加後の平均値は557であった。ただし、19名中7名は、GPUK参加後にはTOEIC試験を受けていないか、報告はされていない。したがって、全体的にはTOEICの点数は向上したものと考えられる。

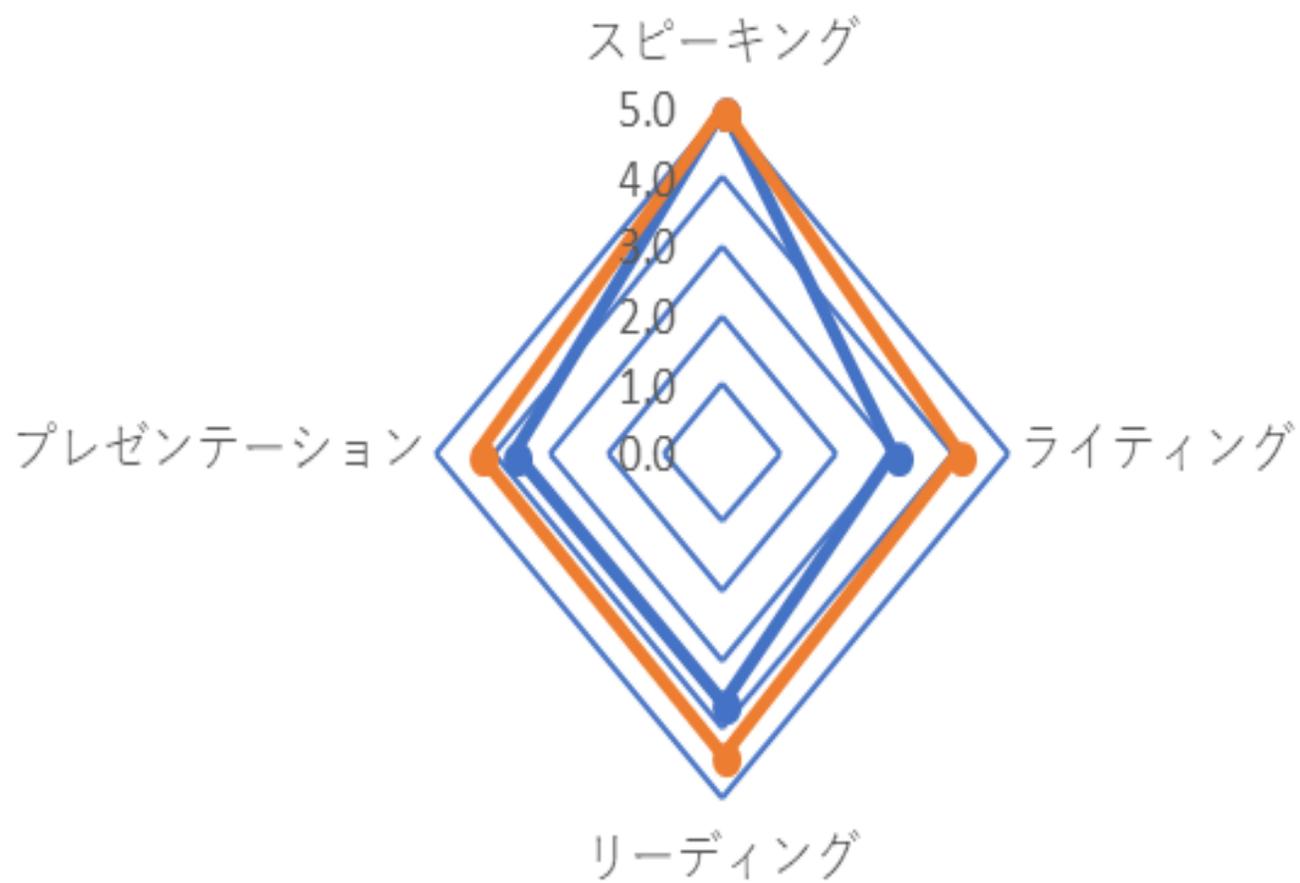
# TOEIC500点以下

● 留学前 ● 留学後



# TOEIC500点以上

● 留学前 ● 留学後



# 主な意見

- 自分から積極的に会話することが重要。
- もっと、ビジネスについて英語で勉強したい。
- 会話を英語でたくさんすることで、コミュニケーション力向上につながることを実感した。
- 留学前からスピーキング力とリスニング力をつけて、もっとホストファミリーとの会話ができればよかった。最後にはホストファミリーとの会話が続いて、力がついた気がした。
- 語学以外でも文化について触れることができた。

# 主な意見

- ホームステイは貴重な経験だった。
- 初めての海外で不安だったが、ホストファミリー、GPUKメンバー、レディング大学のスタッフ、Japan Societyとの関係が深められた。
- 留学前に、もっとメンバーと仲良くなればよかった。
- もっと、Henley Business Schoolで勉強したかった。
- 現地の学生と同じ授業を受けたかった。

# 留学生および希望者の状況

## ✓ 今回GPUKに参加した学生

- 経営学部独自のプログラムであるベトナムの大学に留学中
- 当時1年生の9名の参加者のうち、5名が今期経営学部主催の留学制度に応募

## ✓ 過去にGPUKに参加した学生の一例

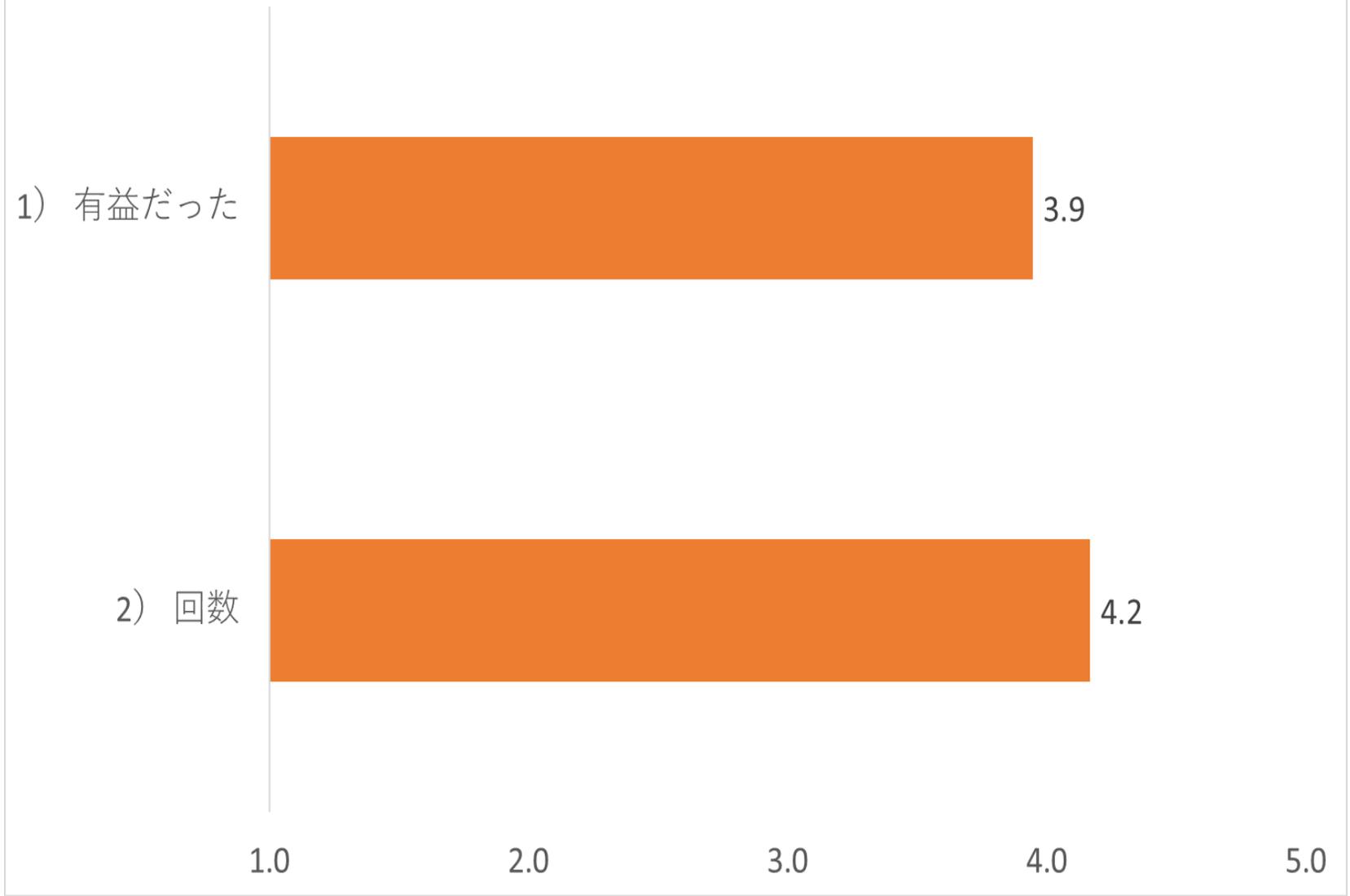
- ブルガリア・ソフィア大学に交換留学
- ガーナ大学へ私費留学
- ベトナム・ホーチミン市経済大学、フランス・レンヌ大学及びカナダ・ビクトリア大学へ留学予定

# 考察

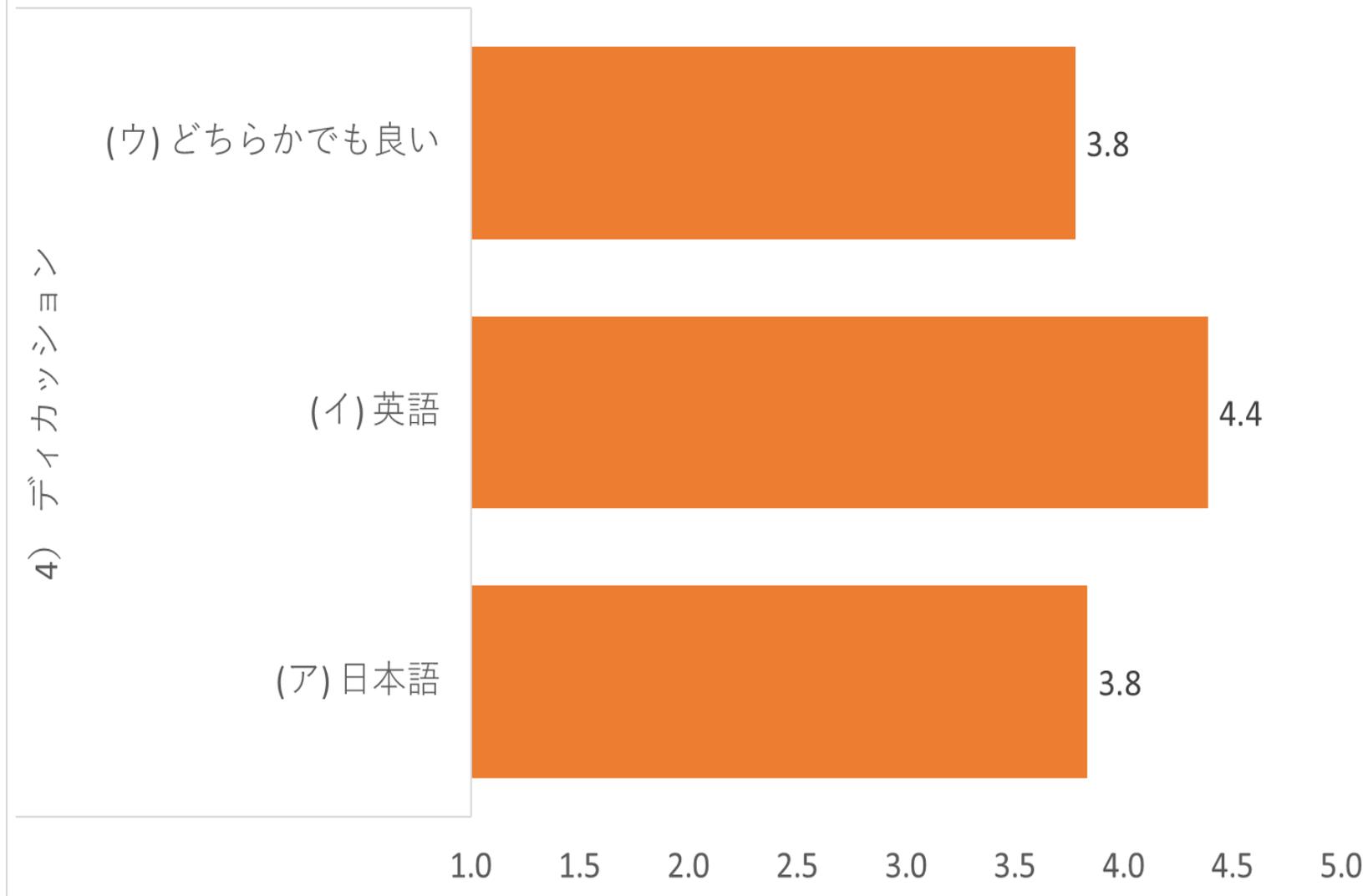
参加者のTOEIC平均点数である500点を基準として分類したところ、

- 留学前では、平均以上の参加者は英語の主要技能についての必要性を感じていたが、平均以下の学生については前者と比較して、その必要性を感じていなかった。
- 留学後では、両者での差はなく、主要技能についての必要性を認識したものと考えられる。
- したがって、GPUKの参加者の英語学習による主要技能について学習に対する認識が高まったものと考えられる。

# 事前学習会



# 事前学習会



# 事前学習会

